

こども連絡会事業計画進捗状況

期間：平成31年4月～令和元年8月

小牧市障がい者計画	目的・ねらい	事業内容	実績、参加人数	参考：第3次障がい者計画	参考：第5期障がい福祉計画、第1期障がい児計画
ネットワークの構築	① ライフステージにおける切れ目ない支援 ② 関係機関の情報共有、課題整理、連携	(6/10) ・乳幼児、小学生、中高生分野に分かれて情報交換、意見交換	参加者：49名 【意見交換内容】 ◇乳幼児分野 ①支援者同士の連携 ②保護者同士の連携	P40(1)	P40(1) ⑤
障がい児支援 早期療育の充実	① ライフステージにおける切れ目ない支援 ② 相談支援事業所への情報提供と障害児通所事業所相互の質の向上を目指す	① 支援級、ことばの教室、通級について ② 保護者同士の交流の場 ③ 障がい軽度の方の支援 ④ 中高生に対する支援	◇小学生分野 ①言葉の支援 ②学習支援	P41(2)	P40(1) ⑤、P41(4)、P64(1)
子ども・子育て支援における障がい児の受け入れ推進	保育園・幼稚園・こども園・児童クラブ・放課後子ども教室等における障がい児の受け入れ促進		◇中高生分野 ①中高生に対する支援	P42(4)	P55(1)、P65(1)、(2)
学校との連携	乳幼児期から学校また卒業後の就労、生活の場を知り合い、繋がり、連携する。			P42(6)	P40(1) ⑤、P41(4)
防災への取り組み	災害時に事業所同士が助け合い、障がい児、家族、地域住民を支援する為の情報共有	・事業所単位の災害時備蓄品リストの作成	・放課後等デイサービス、児童発達支援事業所に災害時備蓄品リストの作成協力依頼	P50(3)	
医療的ケア児等の支援	医療的ケア児が在宅生活を支える体制を作っていく	・医療的ケアについて ①医療的ケアとは ②小牧市の医療的ケア児の現状 ③医療的ケア支援児で大切なこと	報告者：御手洗真由美こども連絡会代表	P40(1)	P40(1) ⑤、P45(5) ③
サービスの質の向上	サービス事業者等の質の向上	(7/12) 多職種事例検討会の実施	参加者：36名【内こども事業所10名】	P41(3)	40(1)④、P41(3)

☆こども連絡会課題点

<p>①外国籍の方が多く福祉サービスを利用する中、言葉の問題があり、アセスメントや契約の際に困ることがある。</p> <p>②乳児時に障がい診断があると保育園の受け入れができず、働く親が困るケースがある。</p> <p>③医療的ケア児への対応。小牧市内には医療的ケアに対応できる事業所がない。 ⇨ 勉強会の実施</p> <p>④障がいの疑いのある子が児童クラブに通うことがあり、児童クラブを利用時の対応が不十分。 ⇨ 児童クラブ対象の研修の実施</p> <p>⑤こども連絡会が乳幼児期、学童期、思春期の0歳から18歳までとライフステージの幅が広く、また、児童デイサービスや子どもに関わる支援機関、保護者の会と参加者も幅広い。ひとつひとつの課題の共有が難しい。 ⇨ 連絡会内で年代別、課題別に検討を実施。</p>
---